おやこであそぼう

～　絵本と、わらべうたの時間　～

2018年 12月19日

☆～　今月の絵本と紙芝居　～☆

まる みつけた／ しかく みつけた／さんかく みつけた（ 福音館書店 ）作・絵：大塚いちお
たべたいのなーに？～紙芝居～（童心社）作：穂高順也／絵：山本祐司
さんかくサンタ（絵本館）作・絵：ツペラツペラ
さんさん さんかく（童心社）作：徳田之久／絵：織茂恭子
さん さん さんかく（講談社）作・絵：よねずゆうすけ
さよなら さんかく（こぐま社）作・絵：わかやまけん
さよならさんかく またきてしかく（偕成社） 作：松谷みよ子／絵：上野紀子
サンタのいちねん トナカイのいちねん（ひさかたチャイルド）作・絵：きしらまゆこ
めがねうさぎのクリスマスったらクリスマス（ポプラ社）作・絵：せなけいこ
クリスマスのかくれんぼ（ポプラ社） 作・絵：いしかわこうじ
クリスマスのおばけ（ポプラ社）作・絵：せなけいこ
まどから おくりもの（偕成社） 作・絵：五味太郎
ゆかいなゆうびんやさんのクリスマス（文化出版局）
作：ジャネット・アルバーグ／絵：アラン・アルバーグ
さむがりやのサンタ（福音館書店）作・絵：レイモンド・ブリッグズ
くまちゃんのふゆまつり（ハッピーオウル社）作・絵：ほりかわまりこ

☆～　クリスマスの食　～☆

　早いもので、2018年も残す所10日とちょっととなりました。クリスマス、暮れと新年の準備で何かとせわしい毎日かと思います。

　さて昨年、12月のこのコーナで、クリスマスの食卓に載るグースとターキーのお話をして、最後にシュトーレン、 クリスマスプディング、ブッシュ・ド・ノエルなどなど、日本でも、すっかりお馴染みになったお菓子の名前を挙げました。

　そこで、今年はシュトーレンとパネトーネのお話をしたいと思います。どちらもクリスマスのお菓子で、中にドライフルーツなどがたっぷり入っています。また12月前から店頭に並び、クリスマスに向けて食べるお菓子でもあります。

　違いは、シュトーレンはドイツのお菓子で、大きな蒲鉾型、トンネル型で、どちらかと言うと固いパン菓子です。ですので少しずつスライスして食べます。シュトーレンには、まっ白に粉砂糖がまぶされていて、それが産着に包まれた幼子イエスを想像させると言われています。

　一方、パネトーネはイタリアのお菓子で、切株のような、鏡餅を縦に膨らませたような形をしています。切ると中の生地は明るい黄色で、何と言ってもふわふわです。

　私事ですが、今年、初めて本場ミラノのパネトーネを丸ごと頂きました。

　それぞれのお菓子を準備したり、クリスマスに食べるのを楽しみにしているご家庭も多いと思います。

　今年の漢字は「災」となってしまいましたが、これは自然災害などの恐ろしさを再認識するだけでなく、災害によって、まだ不自由な生活をされていらっしゃる多くの方々に、私たちが気持ちを向ける、ということでもあるなあと、反省させられました。

　温かなお家で、ご家族そろって、楽しいクリスマスのひと時を過ごせることに感謝しながら、そうした時間を持てない人たちのことも思い、クリスマスを過ごせたら素敵ですね。

　また来年、元気でお目にかかりましょう！

次回は　2019年 1月16日（水）

お問い合わせ
クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０